

第 1 回

東新町・小茂根地域交通意見交換会

説明資料(案)

日時 : 令和6年6月28日(金) 19:00~

// 6月30日(日) 14:00~

会場 : 桜川地域センター 2階 レクリエーションホール

板橋区 都市整備部 都市計画課

本日の次第

(1) 交通に関する現状・動向

(2) 地域の交通

(3) 意見交換会について

(4) 地域の現状把握と事例

①地域の現状把握

②他自治体での事例と課題

③東新町・小茂根での令和5年度アンケート結果（抜粋）

(5) フリーディスカッション

(1) 交通に関する現状・動向

○移動の減少

- ・ 少子化 → 人口減少 (生産年齢人口が減少中)
- ・ コロナ → 通勤の減少 (在宅ワーク増加)
- 仕事での外出の減少 (オンライン化: 日中の移動の減少)
- その他の移動の減少 (非就業者の外出も減少)

【電車やバスの利用者数は、コロナ前の80~90%に留まる】

○担い手不足

- ・ 少子化 → 人口減少 (生産年齢人口減少で、人の取り合い)
- ・ 労働時間規制 → 所要人員の増加に対応できず“減便・廃止”

○シェア型モビリティの登場

- ・ マイクロモビリティ → 電動アシスト付き自転車、電動キックボード、超小型EV など
- ・ ライドシェア → タクシーの少ない時間帯(平日7~11時などで導入開始)

日本の出生数の変化

1948年 268万人
1973年 209万人
1998年 120万人
2023年 72万人

厚生労働省「人口動態調査」

在宅ワークの影響

週5日出勤
↓
週4日出勤
(▲20%)

りんりんGO
シルバーパス乗車数
平成30年度 44,653人
↓
令和5年度 42,414人
(▲5%)

担い手不足の影響の例
スーパー等のセルフレジ
新幹線の車内販売廃止
駅改札口の無人化
路線バスの減便・廃止
タクシーアプリの開始

シェアサイクル



電動キックボード



超小型EV



(2) 地域の交通

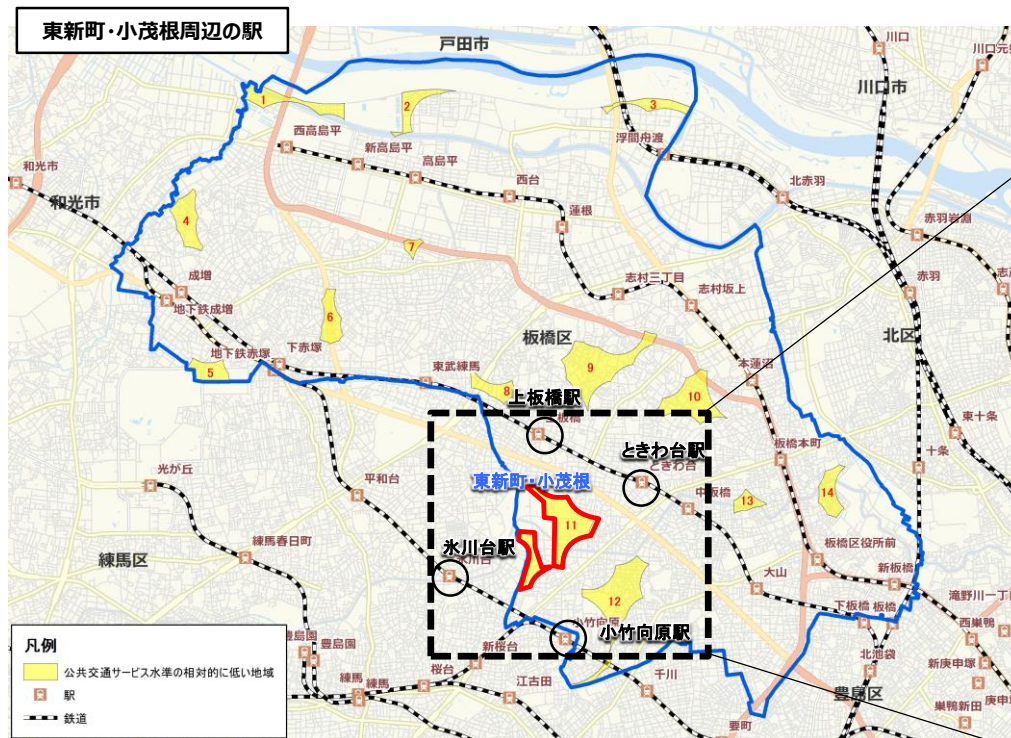
①駅までの距離

東新町・小茂根の周辺の駅は

北方面 東武東上線 の 上板橋駅、ときわ台駅、

南方面 東京メトロ線の 小竹向原駅、氷川台駅 が位置しており、

いずれの駅からも700m~1km程度の距離、徒歩で10~15分となっている。



(2) 地域の交通

②路線バスの運行

環状七号線(毎時4~9本) [・赤31系統 赤羽駅 ~ 大和町(板橋本町) ~ 高円寺駅
 ・王78系統 王子駅 ~ 大和町(板橋本町) ~ 新宿駅
 川越街道(毎時2~3本) [・光02系統 池袋駅 ~ サンシャインシティ ~ 大山 ~ 光が丘駅
 地域内から(平日朝夕・土日祝昼間のみの運行・80分間隔・令和5年9月~)
 ・池55系統 池袋駅 ~ サンシャインシティ ~ 大山 ~ 小茂根五丁目

板橋区のバス路線



川越街道に1路線

東新町・小茂根付近
バス路線図

環七に2路線(高頻度)



地域内からのバス路線(池55系統)

※「観光いたばしガイドマップ」より抜粋

(3) 意見交換会について

①趣旨と位置づけ

- ・ 地域の交通に関する現状と課題・問題を、共有する
- ・ みんなで一緒に、利用して育てる交通を考える
- ・ 既存の公共交通との役割や体系なども踏まえた交通を考える

②今後に繋げていくための基本的な考え方

- ・ 多様な方との意見交換として、他者の意見も尊重しながら地域の交通を考える
- ・ 持続可能な交通として、自身が利用し、周囲の人にも利用してもらうことを意識して、“需要”を考える
- ・ 今後の社会・環境の変化も想定しながら、地域の交通を考える

(4) 地域の現状把握や事例

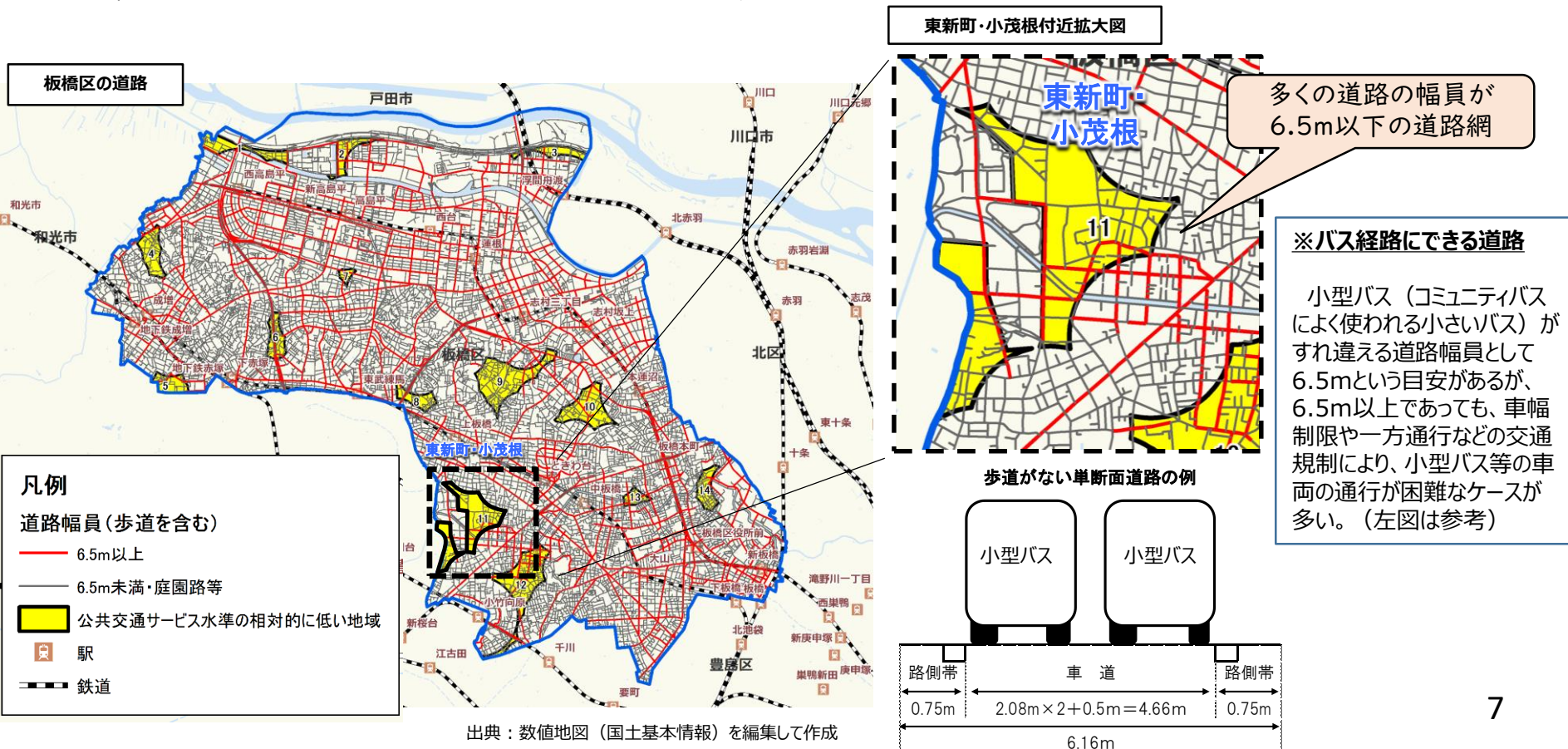
①地域の現状(道路、幅員、交通規制など)

付近の道路の大半が、幅員 6.5m 以下の道路網であり、

道路幅員が狭いため、バス経路にできる道路がない(ワンボックス型車両含む)

また、一方通行や、交差点の進行方向規制も多いほか、

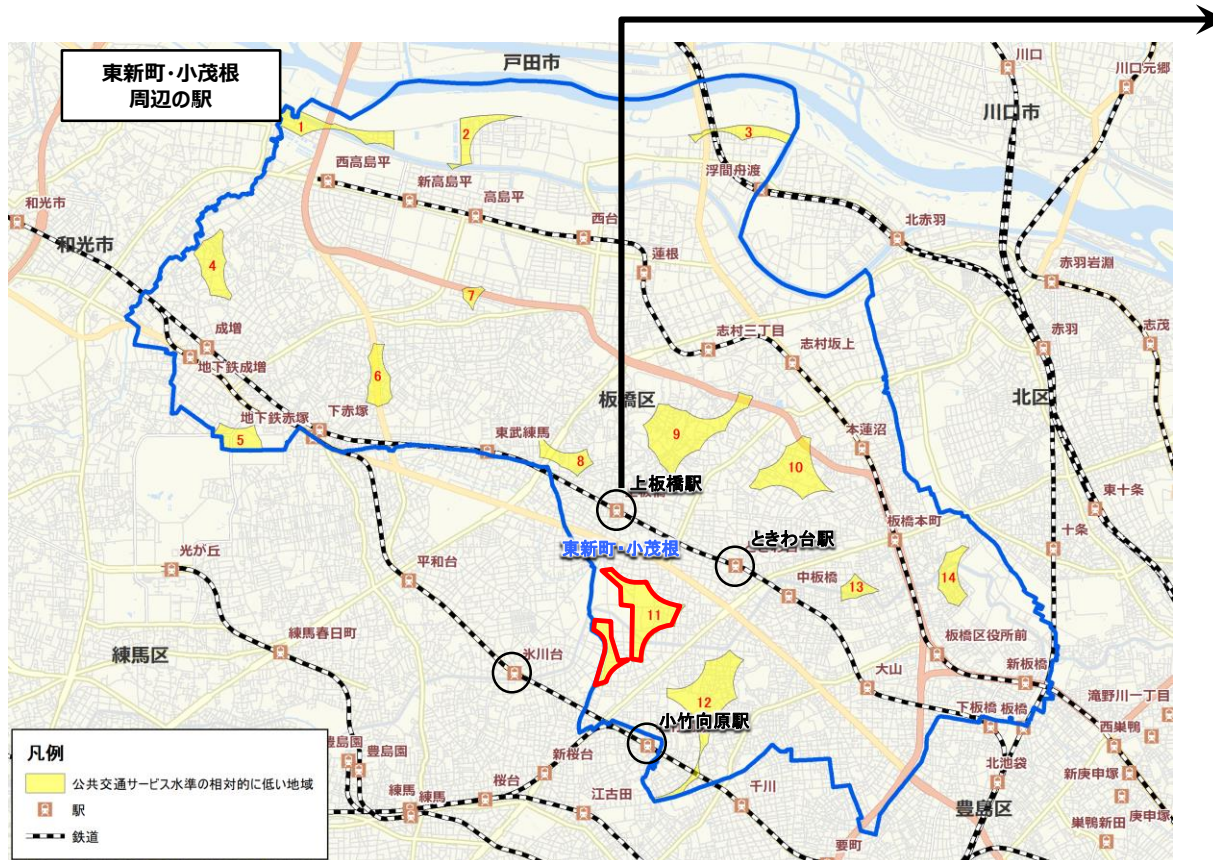
幅員の広めの道路では、スピードを上げる車両も見かける。



(4) 地域の現状把握や事例

①地域の現状(駅前広場)

周辺の駅の中では、上板橋駅南口において、駅前広場を整備中である(令和10年度予定)。
その他、ときわ台駅の南口、小竹向原駅、氷川台駅では、駅前広場はなく、
駅からバスやタクシーの利用が難しい。



上板橋駅南口駅前広場の整備



【上板橋駅南口地区周辺図】



【完成イメージ図】
(上板橋駅より川越街道方面を望む)

※本イメージ図については、今後変更となる可能性があります。

(4) 地域の現状把握や事例

②他自治体での取組事例と課題

主な取組事例	課題や問題など
コミュニティバス	道路幅員が不足、導入不可能 運転士不足によって運行継続性に課題
デマンド交通	既存の交通と競合しない区域の設定 乗り合う利用が少なく、高コストな運行
タクシー乗場	歩道があり、交通支障にならない場所への設置 タクシーアプリの普及で利用形態の変化
住民共助（ボランティア輸送）	地域での理解と担い手の確保、 実際の利用、経費負担



その他、上記の取組に共通する課題

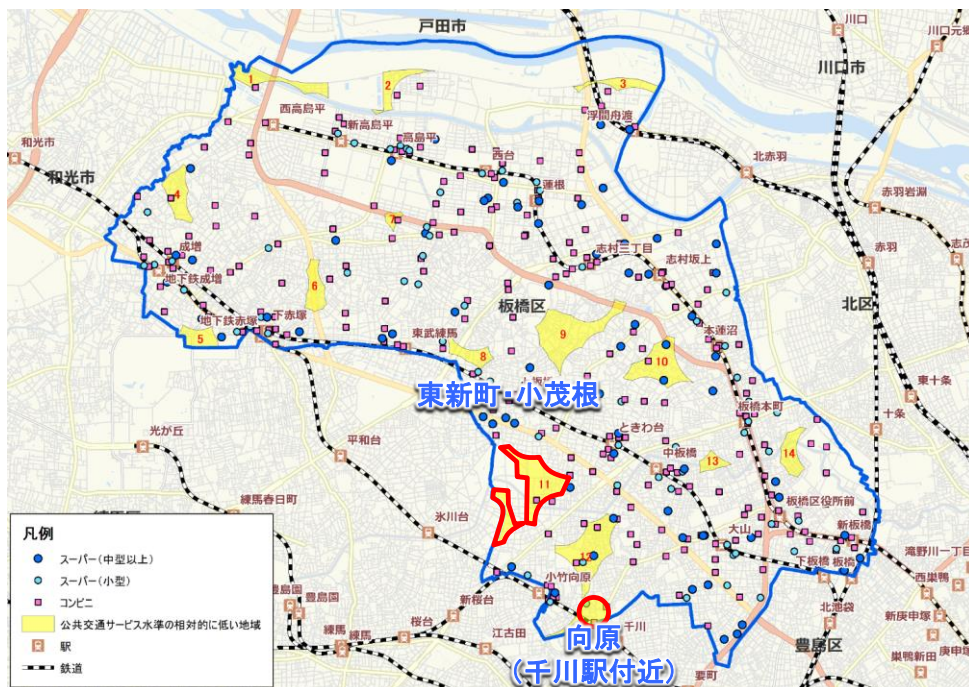
- ⇒ 駅から歩いて15分程度の地域では、徒歩と自転車と競合し、利用は少ない傾向
- ⇒ 持続可能とするため **(1)運行主体・担い手の確保、(2)運行経費の確保** が大切
 - ・運行主体や担い手の“運行を続ける意識”の維持には、多く利用されること
 - ・地域を良くするものとして、地域に広く認知・利用され、受益者負担が行われること

(4) 地域の現状把握や事例

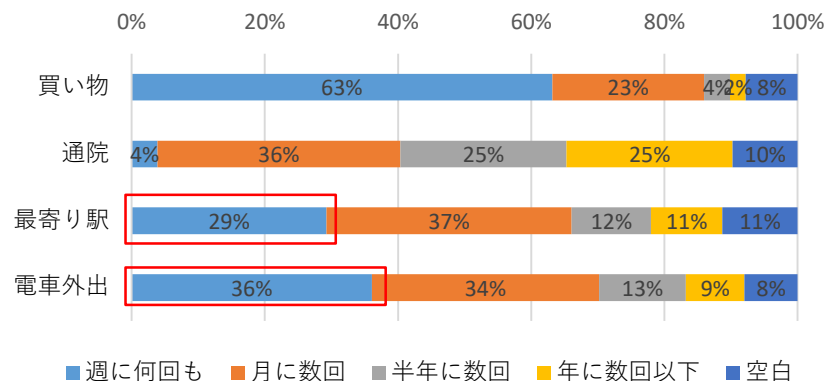
③ 東新町・小茂根地域での令和5年度アンケート結果（抜粋）

【外出目的別の外出頻度】

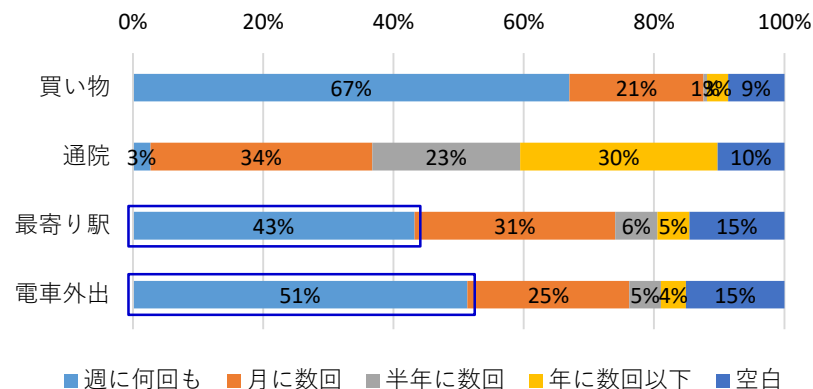
- ・買い物の外出頻度は、週に何回もが最多で、地域差はない。
- ・通院の外出頻度は、月に数回以下で、地域差がない。
- ・最寄り駅付近や電車を使った外出は、向原地域と比較して頻度が少ない傾向。



東新町・小茂根地域の外出頻度 n=513



向原地域（千川駅付近）の外出頻度 n=185

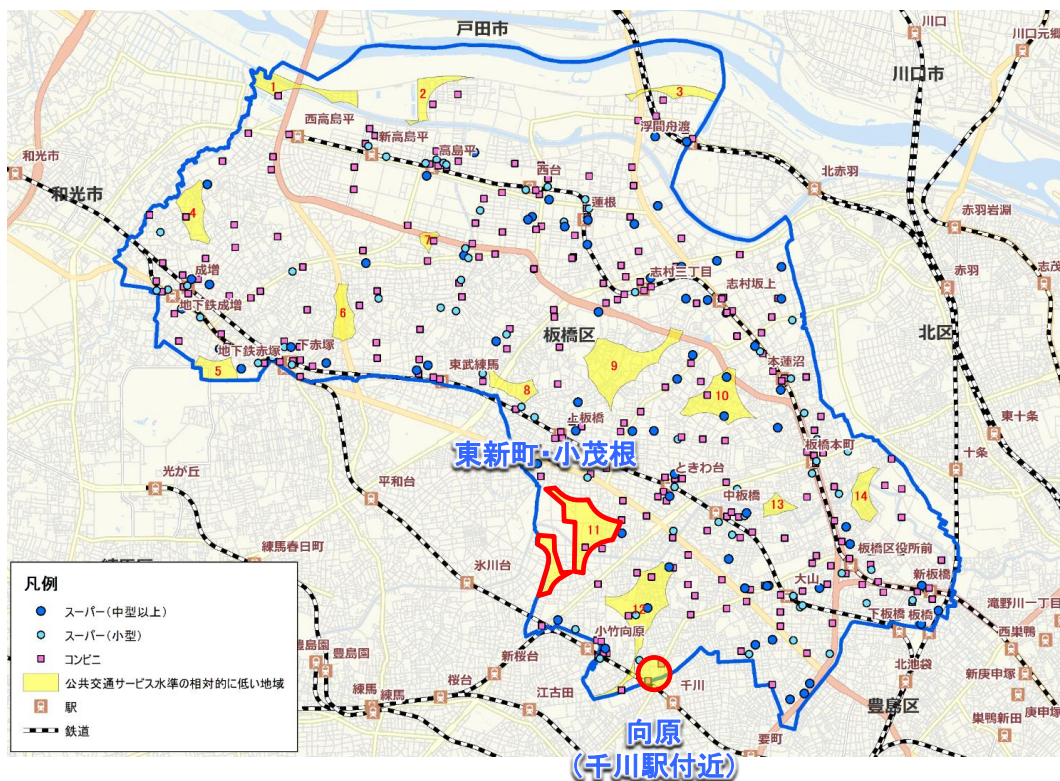


(4) 地域の現状把握や事例

③東新町・小茂根地域での令和5年度アンケート結果(抜粋)

【外出目的別の交通手段利用割合】

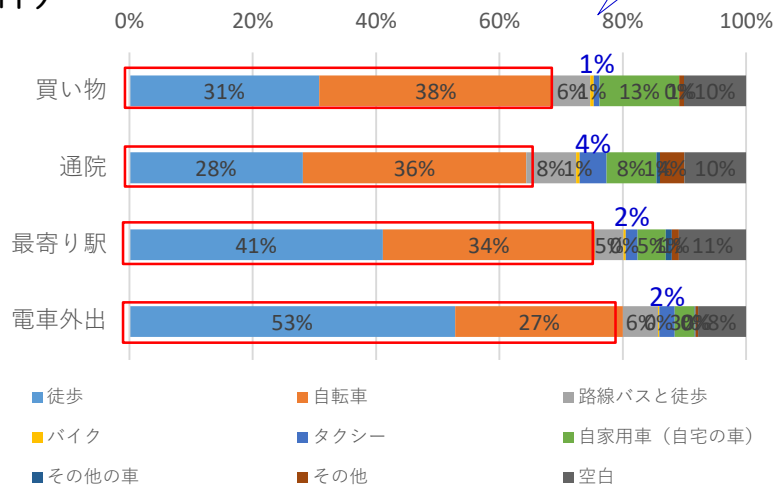
- ・全体的に、徒歩と自転車での移動が中心となっている。
(向原地域は、徒歩の移動が中心。)
- ・タクシーの利用は少ないが、向原地域より利用は多め。



徒歩と自転車の移動が中心

東新町・小茂根地域の交通手段

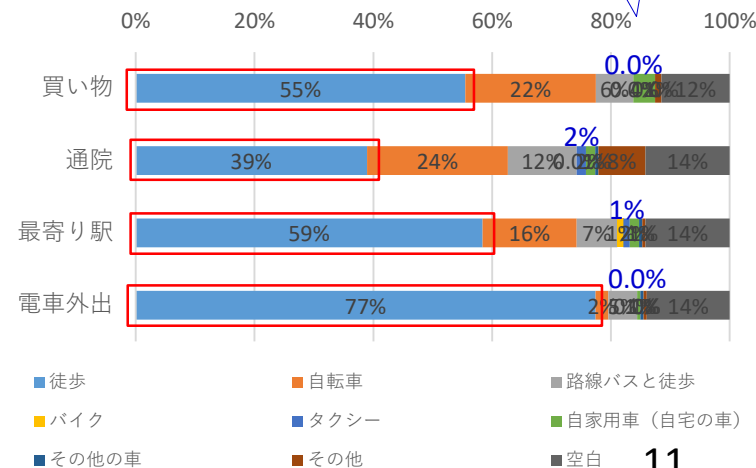
タクシー
利用の割合



徒歩の移動が中心

向原地域の交通手段

タクシー
利用の割合

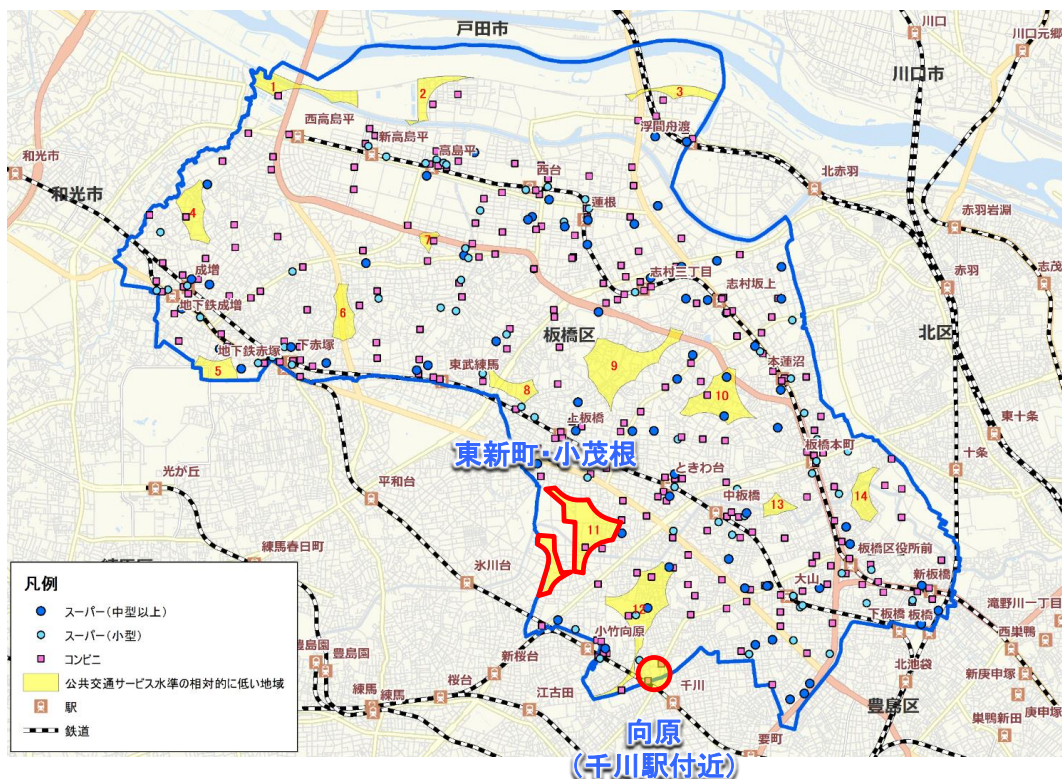


(4) 地域の現状把握や事例

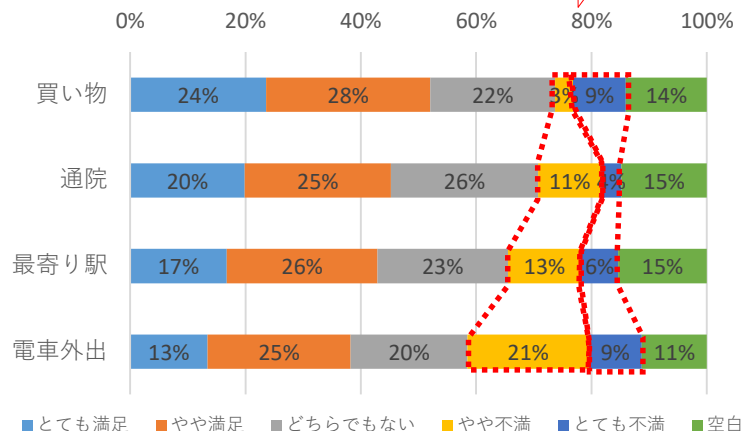
③ 東新町・小茂根地域での令和5年度アンケート結果(抜粋)

【外出目的別の移動の満足度】

- ・全体的に、東新町・小茂根地域の不満の回答が多め。
- ・最寄り駅付近や電車を使った外出時の不満が多くなる傾向。
(「やや不満」の増加が顕著)

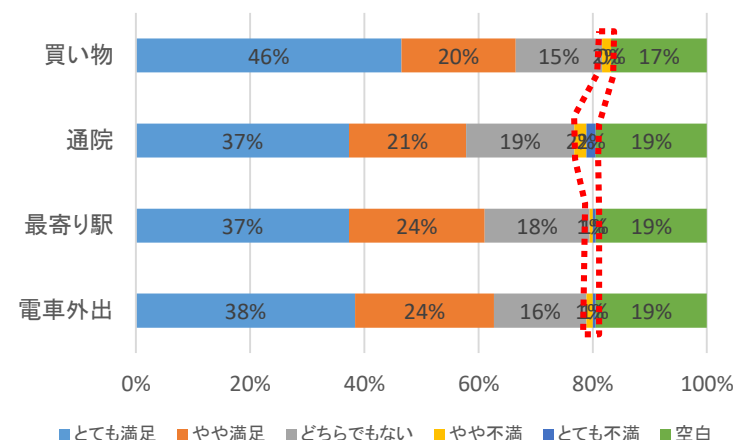


東新町・小茂根地域の満足度



不満の回答が多め

向原地域の満足度



(4) 地域の現状把握や事例

③東新町・小茂根地域での令和5年度アンケート結果（まとめ）

- ・買い物の外出頻度は、週に何回もが最多で、地域差はない。
- ・通院の外出頻度は、月に数回以下で、地域差がない。
- ・最寄り駅付近や電車を使った外出は、頻度が少ない傾向。
- ・全体的に、徒歩と自転車での移動が中心となっている。
- ・タクシーの利用は少ないが、駅に近い地域より利用は多め。
- ・買い物、通院、最寄り駅付近、駅から電車利用いずれの移動でも不満の回答が多め。
- ・最寄り駅や電車を使った外出時の不満が多くなる傾向。（「やや不満」の増加が顕著）



⇒ 不満のある移動について、整理して考えていく必要

- ①何が不満なのか ②どのように解決できるか ③それによって何をを目指すのか